



ふるぼう知生の

「古ちゃん'S レポート」第 16 号

こんにちは。いつもお世話になっております。日頃のご指導・ご鞭撻に心より感謝申し上げます。

想像を絶する被害が生じてしまった東北地方太平洋沖地震ですが、犠牲者の数が日数を追うごとに増えており、避難所の方々にとっては、明日の希望も見いだせず、そして余震を意識しながらの精神的不安定な状況が続いています。復旧に向けてスタートを切ったばかりですが、震災や津波でお亡くなりになった方々に哀悼の意を表するとともに、一人でも多くの、そして一刻も早い救助を願っております。更には福島原子力発電所事故も非常に気になる場所ですし、首都圏においても、電力供給不足による輪番停電にも対応しなければならない状況になってきました。一人ひとりの冷静な判断と行動が求められています。豊島区においても地震や計画停電等の情報提供を正しく、迅速に行って欲しい旨、要望しておきました。

2月10日にスタートした第一回定例会も3月16日に全日程を終了しました。そこで今定例会の審議の様子を皆様にご報告すべく第16号を書きました。ご一読いただければ幸いです。

今回の定例会のメインは平成23年度予算特別委員会でした。8日間にわたる審議を経て、3月11日に会派としての考えを述べ、賛成か反対か採決をしました。私は平成23年度豊島区予算案には賛成を表明しました。私の質疑応答の内容については次のページに記します。

今後の地震や停電等の情報をしっかり把握し、みんなで支え合い、オールジャパンでこの国難を乗り切って参りましょう。

平成23年 3月17日

豊島区議会議員 古坊 知生

予算特別委員会にて意見開陳を行いました。(3月11日)



※ホームページに全文掲載してあります。詳しく読みたい方は以下のアドレスにアクセスしてください。(<http://furubou.com> [【豊島区政報告】](#) [【意見開陳】](#) をクリックしてください。)

【予算特別委員会 刷新の会 質問内容】



【議会費・総務費】

- ・地方議員年金制度について、私の従来の主張通り廃止になったことは評価している。政府の現在の方針と今後の予定はどうか？
- ・開かれた議会にしていくために、情報公開の徹底化が求められる。インターネットによる議会動画中継は有効な手段であるが、常任委員会や特別委員会など、議員が議論している全ての委員会等に対象範囲を拡大すべきである。

【福祉費・衛生費】

- ・子宮頸がん予防ワクチンに対して、他のワクチンと違い、性に関する問題が大きいので、性倫理道徳が乱れないように注意する必要がある。性教育をしっかりとってもらいたいと同時に、製薬会社が作ったパンフレットだけではなく、子宮頸がんについての正しい知識を啓蒙するようにしてもらいたい。因みに私はこのワクチンについては必要性を感じていない。

【清掃環境費・都市整備費・土木費】

- ・造幣局を中心とした地域の街づくり、すなわち東池袋街づくり協議会の進捗状況は？補助176号線について、地域においては反対の考え方もあるが、状況を把握しているか？一方、補助81号線との接点において、商店街を活性化させるため、都電の停留所を作ってほしいとの要望を受けたが、地域のコンセンサスをまとめ、周辺商店街に賑わいを起こし、かつ大塚地域にまで面的な広がりを持たせるような周辺の街づくりを検討してもらいたい。
- ・交通事故の中で自転車事故の占める割合が高くなっている。交通安全教室の充実、特にスタントマンによる交通安全教室の更なる充実を図ってもらいたい。

【文化商工費・教育費】

- ・豊島区の商店街において02年から07年の5年間で小売販売額が、池袋駅東口地下街においては37%減、池袋西北部においては21%減となっている。23区全体で4%増であるから、豊島区の商店街の状況が厳しいかがはっきりわかる。池袋駅を中心として来街者を劇的に増やすために大がかりな仕掛けを考えないと池袋が埋没してしまう。その認識を持ってこれからの豊島区の街づくりを進めてもらいたい。また商人祭りは小さな商店街のパワーを大きくまとめ、各地区の商店街の個性を発揮するものであり、今後も支援をお願いしたい。
- ・他の区と比べると総予算の中で教育費の占める割合が少ない。教育は未来への投資である。更なる充実をお願いしたい。
- ・教育委員会制度で5名の教育委員から教育委員長と教育長が選任されることになって

いるが、なれ合いが生じないか心配である。また教育委員会は政治的中立を確保されなければならないが、首長と教育長との関係性は本区では適度な緊張関係を持っているのか。そして、いろいろな意味で顔の見える教育委員会であってほしい。毎月の定例会議をもっとオープンにして、区民に開かれた教育委員会を目指してもらいたい。

【国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計】

・総じて一般会計からの繰入額が非常に多くなっている。保険料を増額させない措置だというのは分かるが、一般会計に頼る体質になっては特別会計の意味がなくなる。東京都や国に対してこの現実を更に報告し、抜本的な解決を国がとるように要望されたい。

《豊島区の23年度予算はこのように使われます》

(歳出検算)	10,29 億 8,914 万円	100.0%
歳出 計	10,29 億 8,914 万円	100.0%
総務費	1,42 億 6,211 万円	13.8%
福祉費	3,97 億 2,800 万円	38.6%
衛生費	31 億 2,174 万円	3.0%
清掃環境費	47 億 1,427 万円	4.6%
都市整備費	52 億 2,937 万円	5.1%
土木費	48 億 4,013 万円	4.7%
文化商工費	28 億 5,879 万円	2.8%
教育費	75 億 3,415 万円	7.3%
その他	2,07 億 0,060 万円	20.1%
その他	1,48 億 0,958 万円	14.4%
特別区債	32 億 9,300 万円	3.2%
国・都支出金	2,54 億 3,546 万円	24.7%
特別区交付金	2,77 億 0,000 万円	26.9%
地方消費税交付金	41 億 6,900 万円	4.0%
特別区税	2,75 億 8,210 万円	26.8%
歳入 計	10,29 億 8,914 万円	100.0%
(歳入検算)	10,29 億 8,914 万円	100.0%

古ちゃん's チェック

大きな揺れが豊島区役所を襲ったのは、予算委員会の最終日に意見開陳をしていた時でした。委員会は一時休憩となり、区長や防災課長中心に各方面に指示を出していたのが印象的でした。幸い大きな被害は起こらなかったものの、帰宅難民者（滞留者）が駅を中心としてごった返しとなり、多くの人々がホテルに泊まるか、歩いて帰るか二者択一を迫られたようです。

豊島区においても、立教大学や帝京平成大学がそういった帰宅難民者のためにスペースを開放してくれました。こんな近くにも支援の輪が広がっていることを感じる嬉しい情報でした。

【委員会の報告】

1. 都市整備委員会



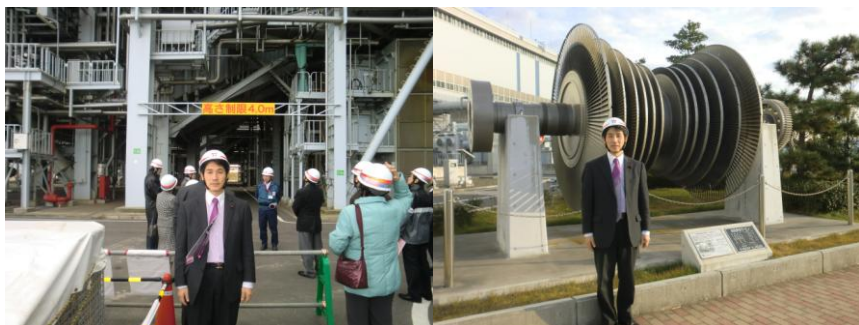
(環状5の1号線を視察)



(大塚駅南口を視察)

- 第10号議案：豊島区居住環境総合整備基金条例→**可決**
- 第14号議案：特別区道路線の認定について→**可決**
- 第15号議案：特別区道路線の一部廃止について→**可決**
- 第22号議案：平成22年度豊島区従前居住者対策会計補正予算第1号→**可決**
- 23 陳情第1号：「有害ごみ」としての分別収集の徹底の陳情→**継続審査**
- 23 陳情第2号：巢鴨の街づくりについての陳情→**採択**
- 23 陳情第3号：豊島区建築基準法第43条第1項ただし書き許可基準（接道する敷地の路地状部分の幅員）の規制緩和についての陳情→**不採択**
- 23 陳情第4号：豊島区建築基準法第43条第1項ただし書き許可基準（接道する敷地の路地状部分が持分共有の場合）の規制緩和についての陳情→**採択**
- 23 陳情第6号：環状5の1号線都市計画変更案の見直しを求める陳情→**継続審査**
- 23 陳情第8号：路面電車（LRT）計画の撤回を求める陳情→**不採択**

2. 清掃環境対策調査特別委員会



古ちゃん's チェック

【報告事項】

先日川崎市にある東京電力の東扇島火力発電所を視察してきました。地球にやさしいエネルギーLNGを使って電気を作っています。こちらで50万世帯分の1日の電力を発生できるとのことでした。

私の議席番号は6番です。偶数の番号の議員は選挙の直前の定例会で予算委員になります。今回私はこの予算委員をしているがゆえに、選挙のための準備が中々できないことを実感しました。大変に不平等だと思いますが、仕方がありません。4年間の活動を皆さんに評価してもらいしかありません。定例会終了後の1カ月間、しっかり運動をし、再び議会に戻り、会派を大きくし、議会改革をリードできるそして、本当に区民のために働く議会をつくりたいと考えています。この議会報告が最後にならないように粉骨砕身頑張ってお参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

発行：刷新の会 TEL：3981-1276 <http://furubou.com> E-mail:sassinokai@toshima.ne.jp
ふるぼう知生後援会事務局：〒170-0005 豊島区南大塚2-24-5-201 TEL&FAX：6801-7909